機械器具 16　体温計

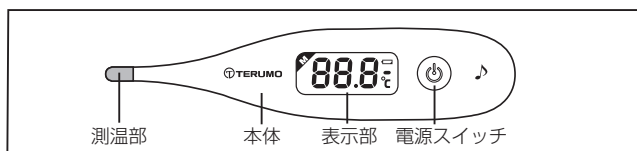
管理医療機器　電子体温計（JMDN コード：14032010）

# テルモ電子体温計P330

**【警告】**
・ 子供だけで使わせないでください。
[ 本製品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをする可能性があります。]

**【禁忌・禁止】**
・ 引火性のある環境では使用しないでください。
[ 引火又は爆発の誘因となる可能性があります。]

## 【形状・構造及び原理等】

**１． 各部の名前**

付 属 品：収納ケース、リチウムボタン電池（CR2032）１個（内蔵）、取扱説明書、添付文書 /EMC 技術資料

**２．体に接触する部分の原材料**
・ 測 温 部：SUS 304 ステンレススチール
・ 本　　体：ABS 樹脂

**３．本体の寸法及び重量**
・ 外観寸法：約 長さ133mm × 幅30mm × 厚さ15mm
・ 質　　量：約 27g（電池含む）

**４．電気的定格**
・ 電　　源：リチウムボタン電池（CR2032）１個（交換可）
・ 電　　圧：DC3V
・ 消費電力：約 50mW
・ 分　　類：内部電源機器・B 形装着部

**５．原理**
本製品は、人の体温を測定するための装置であり、測温部、本体、電源スイッチ、表示部等からなり、測温部に伝わった温度を感温素子により電気量に変換し、その電気量を LSI により演算処理し、平衡温を予測した後、測定値をデジタル表示するものです。

## 【使用目的、効能又は効果】

本製品は、測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する装置です。

## 【品目仕様等】

種　　類：一般用、測温部一体形、一部防浸形
型　　式：P330
測温方式：予測式（予測検温・実測検温兼用）
温度検出：サーミスタ
検温部位：ワキ下
測温範囲：32.0 ～ 42.0℃
温度精度：最大許容誤差± 0.1℃（恒温水槽で実測測定した場合）
一部防浸形：JIS T 1140：2005 の規定による
表示方式：液晶表示素子による体温値３桁デジタル表示
使用条件：周囲温度　10 ～ 40℃　相対湿度　30 ～ 85% RH
（ただし、結露なきこと）
保管条件：周囲温度　–20 ～ 60℃　相対湿度　95% RH 以下
（ただし、結露なきこと）
最小表示単位：0.1℃
測温範囲外告知：測定温度が 42.0℃を超えると表示部に「0」を表示する。

※ 本製品は EMC 規格 JIS T 0601-1-2: 2012 に適合しています。
EMC 適合
CISPR グループ分類：グループ１ クラス分類：クラス B
※ 本製品は JIS T 1140 : 2005 に適合しています。

## 【操作方法又は使用方法等】

**(1) 収納ケースから体温計を取り出し、電源スイッチを押してください。**
**(2)「ピッ」とブザーが鳴り、全点灯表示に続いて、前回値表示マークと前回の測定値が約２秒間表示され、測定状態になります。（前回値表示の際には、バックライトが自動で点灯します。）**
**(3) 先端（測温部）をワキ下中央のくぼんだところにあててください。**
**(4) 体温計をななめ下から 30°くらいの角度で、押し上げるようにはさみ、ワキをしっかり閉じてください。**
**(5) 予測検温の場合：**
検温開始後、約 30 秒で予測検温終了のメロディーが鳴りますので、表示部の数値を読み取ってください。体温計をワキから取り出した際には、バックライトが自動で点灯します。
※正しい方法で測定を行わなかった場合や血行動態・体躯等によっては予測精度が保証されない可能性がありますのでご注意ください。
**(6) 実測検温の場合：**
① 実測検温を行う場合は、予測検温終了のメロディーが鳴っても、体温計をワキ下から出さず、そのまま検温を継続します。検温開始から約４分 30 秒後に実測表示に切り替わります。
② その後もそのまま検温を継続すると、検温開始から約 10 分経過後に、実測検温終了のメロディーが鳴りますので、表示部の数値を読み取ってください。体温計をワキから取り出した際には、バックライトが自動で点灯します。
**(7) 検温が終わりましたら電源スイッチを押して（１秒以上）電源を切ります。**
**(8) ご使用後は乾いた布等で水気を拭き取って、清潔な状態で付属の収納ケースに収めて保管してください。**
**(9) 電池交換の方法は、取扱説明書をご参照ください。**

## 【使用上の注意】

(1) 人の体温測定以外に使用しないでください。
(2) ワキ下以外（口中等）で使用しないでください。
(3) 使用の前に、外観に破損がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないでください。
(4) 検温を始める前に、次の点に気をつけてください。
・飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30 分ほど待ってから測定してください。
・ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ってください。
・ワキ下に強く密着させて測定してください。
・くり返し検温するときは、少し時間を置くなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから検温してください。
(5) 他の機器と併用するときは、影響の有無を確かめてください。誤作動する場合には併用しないでください。
(6) 本製品は、衝撃、振動、塵埃、噴霧、腐食性ガス等の発生する場所で使用しないでください。
(7) 踏まない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っ張らないでください。
(8) 分解、修理、改造は行わないでください。
(9) 電池及び電池カバーは、子供等がけがをしたり、飲み込まないように十分注意してください。
※ 添付文書及び取扱説明書に従わない使用がなされた場合及び勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売元及び発売元は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

**１．貯蔵方法**
日光や紫外線等の強い光があたる場所に保管したり、湿気が多い場所、ホコリが多い場所、腐食性のガスの発生する場所に保管しないでください。体温計は、先端部を守る目的で、収納ケースに収めて保管してください。長期間使用しない場合、電池は取り外して保管してください。

**２．使用の期間**
標準的な使用期間の目安：５年（自己認証による）

**３．電池寿命**
予測検温：１日２回約 1.5 年
実測検温：１日２回約１０カ月

## 【保守・点検に係る事項】

(1) 水洗いはしないでください。
(2) 本製品の汚れがひどい場合は、布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ってください。
(3) 消毒液等に水没させないでください。先端（測温部）を消毒する際は、布等に消毒用エタノール（76.9 ～ 81.4V/V%）を浸し、拭き取ってください。
(4) 超音波洗浄はしないでください。
(5) 熱湯消毒（50℃以上）はしないでください。

## 【包装】

１個 / 箱

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元：**シチズン･システムズ株式会社**
住　　所：東京都西東京市田無町 6-1-12
製　造　元：**西鉄城精電科技（江門）有限公司**
CITIZEN SYSTEMS (JIANGMEN) CO., LTD.
中華人民共和国
**発売元：テルモ株式会社**
お問い合わせ先
**テルモ・コールセンター**
電話：0120-008-178　(9:00 ～ 17:00 土・日・祝日を除く)

取扱説明書を必ずご参照ください